

調査対象…川越市在住の満20歳以上の男女（外国籍市民を含む）

対象者数…3,000人

抽出方法…川越市住民基本台帳から無作為抽出

調査方法…郵送による配付・回収

調査期間…平成18年10月5日～25日

回収数…1,644人（54.8%）

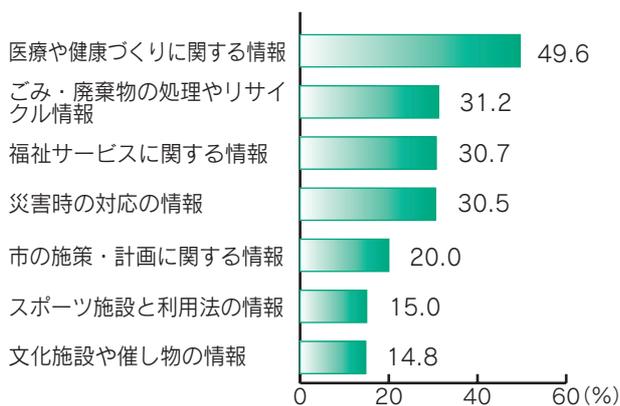
調査項目…「都市基盤・生活基盤」「産業・観光」「教育・文化・スポーツ」など大きく7つに分かれ、それぞれに複数の設問があり、全部で39問あります。32問は前回と同じ設問で、市民の皆さんの意識の変化も見ることができます。7問は「保健」「環境」「男女共同参画」「情報提供」など新しい設問です

*回答はすべて百分率（%）で表し、計算の都合上、小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計は100%ちようどにならない場合もあります。

*複数回答の質問は、回答の合計が100%を超えています。

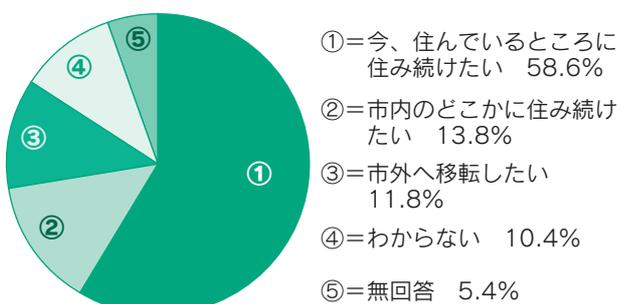
■あなたが、今必要としている市からの情報（複数回答） 「医療や健康づくりに関する情報」が約50%

必要としている市からの情報は、「医療や健康づくりに関する情報」が最も多く、約50%です。「ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報」など3項目が30%台になっています。



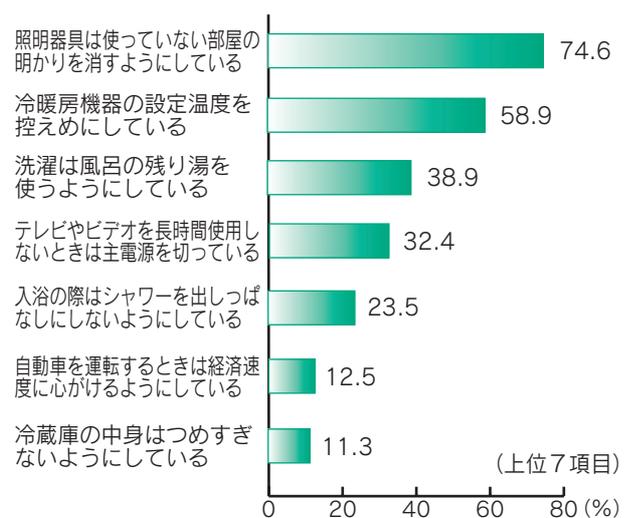
■これからも川越市に住み続けたいと思いますか 「今、住んでいるところに住み続けたい」が60%近くを占める

今後の市への定住意向は、「今、住んでいるところに住み続けたい」が60%近くになっています。「市内のどこかに住み続けたい」「市外へ移転したい」は共に、10%台前半でした。



■省エネのために行っていること（複数回答） 70%以上が「照明器具は使っていない部屋の明かりを消すようにしている」

「照明器具は使っていない部屋の明かりを消すようにしている」が最も多く、70%を超えています。「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」も、60%近くに達しています。



市民意識調査報告書の閲覧



質問・回答・分析など全設問をまとめた「第9回川越市市民意識調査報告書」は、広聴広報課（本庁舎4階）と中央・西・川越駅東口の各図書館で閲覧できます。

ご協力ありがとうございました

第9回 川越市市民意識調査 結果報告

問い合わせ…広聴広報課広聴担当・TEL内線2121

昨年の10月に実施した「川越市市民意識調査」の結果がまとまりました。

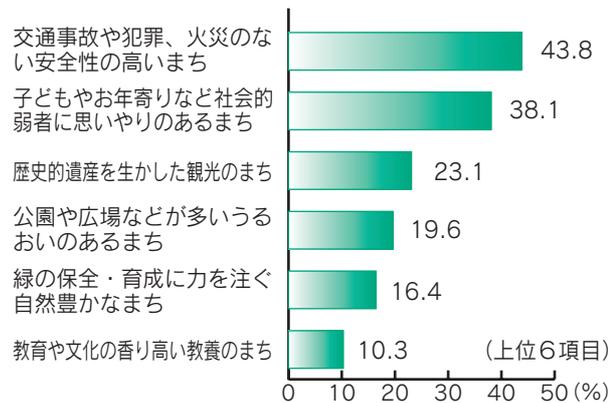
この調査は、満20歳以上の市民の皆さんを対象に、都市基盤や生活環境などに関する意識、市政への要望などを伺い、今後の行政施策の基礎資料とするために実施したものです。前回（平成15年度）の調査から3年ぶり、通算9回目の調査となります。調査対象などは右のとおりです。

調査結果から抜粋して、その概要をご紹介します。

■川越市をどのようなまちにしたいですか（複数回答）

第1位は、「交通安全や犯罪、火災のない安全性の高いまち」

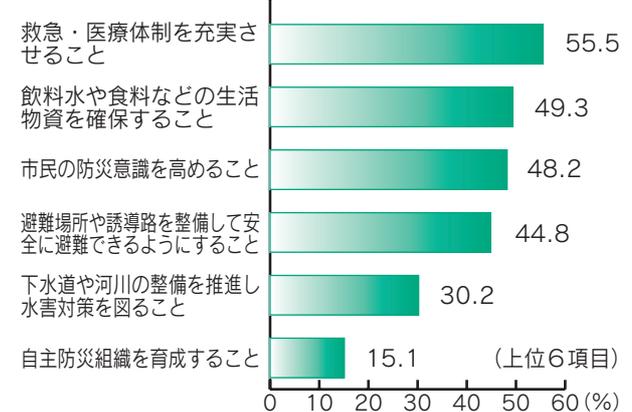
川越市の将来像は、「交通事故や犯罪、火災のない安全性の高いまち」が最も多く、次いで「子どもやお年寄りなど社会的弱者に思いやりのあるまち」です。この2つが特に多くなっています。



■防災対策として、必要な施策（複数回答）

「救急・医療体制を充実させること」が50%を超える

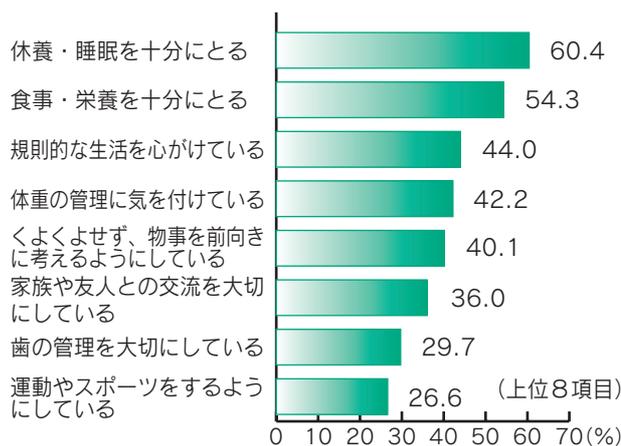
「救急・医療体制を充実させること」が最も多くなっています。以下「飲料水や食糧の確保などの生活物資を確保すること」など3項目が40%台で続いています。



■健康を保つために注意していること（複数回答）

「休養・睡眠を十分にとる」が60%を超える

健康のために注意していることは、「休養・睡眠を十分にとる」が最も多く、60%に達しています。次いで、「食事・栄養を十分にとる」が54.3%で続いています。



■力をいれてほしい施策（複数回答）

「道路、交通網の整備」「保健・医療」の要望が上位

力を入れるべき市の施策で最も多いのは「道路、交通網の整備」、2番目に「保健・医療」。以下、「社会福祉」「消防・防災・防犯」「公園・緑地の整備」「交通安全」がわずかの差で続いています。

